平成31年度(令和元年度) 全国学力・学習状況調査の結果から見える子どもたちの姿

伊豆市立天城中学校

平成31年4月18日(火)に中学3年生を対象に実施された『全国学力・学習状況調査』の結果について、本校の概要をお知 らせします。

周知のように、本調査は「子どもたちの学力や学習・生活状況を把握・分析し、指導の充実や学習状況の改善に役立て

1 学力調査結果の概要

①教科に関する調査結果(全国との平均正答率の比較)

平均正答率	国語	数学	英語
H31	0	0	0

- 全国+3.0ポイント以上
- 0 全国±2.9ポイント以内
- 全国-3.0ポイント以下

② 領域別の回答状況 (全国との平均正答率の比較)

※紙幅の都合により、特徴的な問題のみ掲載しています!

すべての設問で全国の正答率を上回っている。あえて課題を挙げるならば、 国語 「話し合いの話題や方向をとらえて、自分の考えをもつこと」がやや苦手である。

領域別	国語			
平均正答率	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	言語に関すること
H31	0	0	0	0

【正解率が高かった問題】

山下さんも気になっていたのですね。それに、例年、展示や 発表の場所が校内に点在しているので、見て回る経路の例を示 した紙を配るとよいと思います。

賛成です。展示や発表の場所は美術室 や体育館など校内のあちこちにあるので, 長い距離を移動することに負担を感じる 方がいると思います。具体的な経路の例 は、展示や発表の場所が決まってから検 討しましょう。それでは、今日の話し合 いはここまでですね。



問題 傍線部の倉田さんの発言について説明したもの として、最も適切なものを選びなさい。

- 西野さんの発言の一部を具体的に言い換えて確 認しながら、自分の考えを示している。
- 西野さんの発言の一部を取り上げ、様々な考えを 出し合うように周囲に促している。
- 西野さんの発言の要旨をまとめながら、話し合いを 通して導かれた結論を述べている。
- 4 西野さんの発言と他の人の発言との相違点を示 し、議論の要点を確認している。

(答え) 1

・一次関数について、表、式、グラフを相互に関連付けて理解することに課題がある。 数学 -次関数を用いて具体的な事象をとらえ説明することに課題がある。

数学 領域別 平均正答率 数と式 関数 図形 資料の活用 H31 0 0 Δ

正答率が高かった問題 正答率が低かった問題 (1) 冷蔵库Aを購入してx年間使用するときの総費用を y 円としま 問題 2枚の10円硬貨を同時に投げる このグラフにおけるx座標がOである点をP,x座標 このxとyの関係を、健太さんは次のような一次関数のグ が8である点をQとする。点Pのy座標と点Qのy座標の差は、冷蔵庫Aについての何を表しているか。下の とき、2枚とも表の出る確率を求めな さい。ただし、硬貨の表と裏の出方は、同様に確からしいものとする。 冷蔵庫Aの使用年数と総費用 ア〜オの中から正しいものを1つ選びなさい。 (円) 240000 ア 本体価格 イ 使用年数 160000 ウ 1年間あたりの電気代 エ 購入してから8年間の電気代 80000 オ 購入して8年間使用するときの総費用 (答え) 1/4 (答え) エ 8 10 12 14 (年)

英語 物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ることに課題がある。

領域別 平均正答率	英語			
	聞くこと	話すこと	読むこと	書くこと
H31	0	0	0	0

【正答率が高かった問題】

【正答率が低かった問題】

問題 次の英文を読んで、その内容を最も適切に表している絵を,下の1~4の中から1つ選びなさい。

I went to a park yesterday. I saw two beautiful birds in the tree. There were three people around the tree. Two girls were taking pictures. A man with a bag was just watching the birds.









(答え) 3

問題 英語の授業で、身近なものを調べて発表することになった。次の英文は、ある生徒が、100円ショップについて調べてまとめたものである。これを読んで、発表の始めに話の流れを示すスライドとして最も適切なものを、1~4の中から1つ選びなさい。

※英文と1~4のスライドは、裏面にあります。

(答え) 4

総評

調査結果から、国語・数学・英語ともに全国の平均正答率を大きく上回っており、非常に良好な状況にあります。国語では、全領域において高い正答率を示しており、すべての設問で全国を上回りました。「話合いの話題や方向をとらえること」にやや苦手意識があるようです。今後も、対話的な学習を意図的に取り入れ、他の考えと比較しながら自分の考えをまとめるような活動を大切にしていきます。数学では、「関数」の領域において、正答率が全国平均を下回っており、数学的な結果を事象に即して解釈することに課題があります。平素の授業から、問題解決の方法を考え、数学的に説明するような場面を取り入れていきます。英語では、全領域で全国平均を上回りましたが、設問別にみると「読むこと」に関して若干の取り見いました。コミュニケーションの目的や場面、状況に応じて、おおまかな流れで読み取るような学習を効果的に取り入れていきます。

2 学習状況調査の結果

観点	全国平均との比較	
国語への関心等	©	
数学への関心等	©	
英語への関心等	0	
地域・社会への関心等	0	
規範意識	0	
自尊感情	0	
学習習慣	0	

大切にしたい姿

- ・地域の行事に参加している
- ・読書が好きである
- ・いじめは、どんな理由があってもいけない
- ・人が困っているときは、進んで助けている

改善したい姿

- ・新聞を読んでいる
- ・将来の夢や目標を持っている

ご家庭で話題にしてください!

☆学校だより(9月号)でも話題にしましたが、「新聞を読んでいますか」という質問に対して、「ほぼ毎日読んでいる」「週に1~3回程度読んでいる」と回答した子どもの割合は、昨年度に引き続き、全国平均を下回る結果となりました。過去の調査結果から、新聞を読んでいる子どもは、各教科の正答率が高いことが明らかになっています。すべての記事を読む必要はありません。まずは見出しだけ読んでみようと誘ってみるのもよいと思います。 見出しだけを斜め読みして、気になる記事を探したり、おもしろい写真を探したりと、無理をせずに「毎日10分だけ」でも新聞に向き合う時間を設けてみてください。

☆「将来の夢や目標を持っていますか」という質問に対して、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した子どもの割合は、全国平均をわずかに上回る結果となりました。しかし、昨年度と同様に、数値的には決して高いとは言えず、本校の課題の一つになっています。夢(目標)を具体的に持っている子どもは、各教科の正答率が高いだけでなく、何事にも意欲的に取り組む傾向があります。将来に向けての長期的な夢(目標)や、それを実現するための短期的な目標(いつまでに、何をするか)について、機をとらえて、ぜひ話し合ってみてください。子どもの話にじっくりと耳を傾けることで、どんな道に興味をもっているのかが見えてきます。その方向性を示してあげることが、私たち大人の役割だと思っています。